昭和二十年五月廿二日（火曜日）

a.a. NEWS
日本廣告界報會（第一號）

發行所　日本廣告會　東京都中央區銀座二丁目（電話内）
發行人　白川虎三郎　編輯人　西鄕德男
印刷所　日本電報通信社　東京都中央區銀座二丁目

廣告會を前進させるものは何か

政黨政治の最も望ましい形は、有力なる二大政黨の對立にあると言われる。これは鄭度ある競爭性が、有效に働くことの如何に必要であるかの一證左である。

この政黨政治の理想的典型を示す米國にあつて共和黨と民主黨とが各自の政治的立場を保ちながらも、最近の「トルーマン主義」にあつては兩黨とも百パ支持をしているという報道は現下の我々にとつて注目すべきものを含んでいると思う。

機運を正しく掴んで、一つの組織を結成させることも樂であるが、又は社交的な親睦團體として閑適いではないが、これが從來の廣告界にあつては、競爭して他を押し除けようとする時代であるというのも決して閑適いではないが、これが從來の廣告界にあつては、終始しない限り永續性發展性の伴うものは皆無であつたと言つても左程言い過ぎではないであろう。

獨自の主張を持つてこそ廣告宣傳が始めて生きてくるものであり、廣告宣傳の時代は競爭性と協同性との巧みな行使を、米國から學ぶ必要のあるのは、政界はもとよりだが廣告界に於いて殊に然りと言えるのである。廣告の協同性を學び取らなくては、眞の競爭もおぼつかないとも言える。最近の米國の雜誌に載せられている生産組合等の名による協同廣告を、廣告に於ける協同精神の具體的な現われとして、以て範とすべき重大なる示唆をくみ取らなければならない。

日本廣告會の事業的活動の基礎が、專門部會にあることは、既に御承知の通りである。この專門部會に於いて、協同精神にもとずく活動がなされるかどうかが、廣告會の前進に對する成否の鍵である。

課題二つ

副會長　鹽原禎三

最近ニューヨークの上空を胴體に電球をベタ一面に裝置した飛行船がそれを點滅させ乍ら夜空に廣告文を殘して飛んだ寫眞が雜誌に載つて居た。正に廣告效果一〇〇%、アメリカならではと思われる思い切つたやり方である。都電の横腹にのり出した日本の廣告と比較して同じ移動廣告という比較するだに情ない次第である。

廣告が經濟文化の所産と考えればこの差が太平洋を間にして存在することも全く止むを得ないことではある。今日吾國の廣告界の復興は經濟再建を前提とする。資材、媒體の缺乏は折角多少なり生産し得た製品の宣傳普及にも重大な隘路を成して居る。しかし此の際吾々として考えるべきことが二つあると思う。

第一に經濟再建に廣告の演ずべき積極的な役割について である。上述の隘路は隘路として、限られた資材、方法を最も有效に活用する工夫を凝らすことである。それは單に止むを得ず凝らす工夫ではない。經濟再建は廣告からの信念を以てすることである。閉市を引合に出すのはどうか思うけれど「高い」苦情はあるにしても物が現實にあるのを見るのは何となく心强いものである。廣告も同じ精神的效果がある。更にそれが正しい信念と目的の下になされるとき、ともすれば壞滅かんとする現下の日本經濟に勇氣と光明を與えることも出來ると信ずるのである。この意味に於て廣告に關係する吾々の責務も亦大なりと云わざるを得ない。

第二に何といつても閑散な廣告界の現狀ではあるがその間を利用して將來の策を考究し樹立することである。それには色々な問題があろう。研究課目に事缺く心配はない。その中二つを持ち出して見たい。一つは勿論廣告術の研究である。過去の經驗も顧みよう。又諸外國の廣告についても充分な勉强をすべきであろう。それが將來どんなにか役に立つか想像に餘りある。

次には正しい廣告の普及に關する策の樹立である。龐僞誇大な廣告は勿論のこと、廣告の社會的影響に鑑みて好ましからざる廣告の絶滅に施策が望ましいのである。そして正しい廣告主が、廣告を謳み聞く大衆を共に保護される、要すれば法的措置が研究されて然るべしと考えるのである。そして正しい廣告の指導と相俟つて廣告の目的を一〇〇%に達する日を期待したい。

斯く述べ來たつて廣告界の重大期に本會の副會長の任に堪えざる自らの非力を思い、會員各位の御鞭撻をお願いして筆をおく次第である。

「日本廣告會」の發刊に際して

會長　高橋龍太郎

昭和二十二年二月十三日に創立總會を終りまして不肖初代會長として皆樣の御推薦により就任致しましたことは誠に光榮の至りと存じます。

今後共本會の發展に力を盡す所存であります今度會報の發刊に際しまして聊か日頃の所信を申述べ御挨拶致すことゝ致します。

顧みますれば戰時中産業廣告界は日本宣傳協會に一括され强制的な宣傳機關の役割を致しましたが、その間業者の自發的な創意による文化的使命は殆んど窒息狀態でありましたことは御承知の如くであります。今や日本は眞理と平和を愛し、好み且樂しむところの文化國家となる以外に我國の再建はあり得ないと存じます、之れが爲には廣告文化の向上發展が大なる使命となつて我國産業界が國内的にも國際的にも信用せられるように先導することが、大切であります。

噫うに廣告の使命には、大きく言つて二つあると思います。一つは實際あるがまゝの發表宣傳により、製品の需要供給の効果を一層力强く、消費者層に呼びかけつゝ、業者の熱意を訴へることゝ、他は製品の宣傳を兼ねつゝ、將來斯くあるべしと云ふ生産の指導的な啓發を揭起することこれであります。

そこで皆樣と共に本會を特に後者の研究面に調査を深くし、廣告知識の普及に努め、國内はもとより、國際親善に役立つ眞に平和國家にふさわしいものにしたいと念願するものであります。現在の日本經濟は國際間における經濟問題の一環をなしてゐることを認識する要があり、從つて日本の特殊性を如何に國際間の經濟一環の中に、織り込んで行くかと言ふことは、我々業者の深く關心する所でありまして、之れが廣告界に於ても當然取上げられるべき問題と存じます、軍出貿易が再び開かれる時は、廣告がその先鞭を為し、種々の意味に於ても「途を開く」具體的役割を受け持つものでありますから外國が何を欲しているかの研究は、素より必要なことゝ存ぜられます。

本會の使命を、業者に徹底せしめるべき此の會報が誕生致しましたことは、誠に時宜に適したことゝ存じますので初代會長となりました御挨拶旁々お慶び申述べる次第です。

日本廣告會創立の意義

理事長 三川虔白

建國以來最初にしてしかも最大の敗戰を喫し、我々の先輩が永年に互つて築きあげた産業を潰滅に陷らしめた今次の太平洋戰爭は、かえすがえすも殘念で堪らない。

然しそれは軍國日本の當然履むべかりし過程であつたかも知れない。我々はこの際過去の悪夢としてこのやうな過誤を再び犯さないように戒しむると共に一日も早く平和で民主的な新日本をうちたてなくてはならない。それがためには生産の增强により産業界の復興をはかる以外に途のないことは今更ら云うまでもないところであるのだが、增産ということは現下の國内情勢から見て云うべくして實は極めて困難なことである。すべての産業の基礎資源であるところの石炭、鐵鋼、電力等が現在のやうな滅産を續けてゐる限り諸多の平和事業の復興はかけ聲のみに終るであろう。

しかしこう云う隘路も民主的政府の樹立によつて早晩解決されることと思う。それ故我々平和産業に携さわるものの務めは、乏しい原料資材を最も能率的且つ效果的に驅して、一品でも多く市場に提供することである。徒らに資材の濫費を許うるのでは日本の再建など出來ることでない我々の全智全能を傾け創意工夫によつて無から有を生ぜしめるための努力が要請される所以である。戰前日本の輕工業が世界的に名聲をかち得たことを思えば、將來國際貿易の再開された曉における日本の發展は洋々たるものである。現在の日本は物資の極端な缺乏により、商品の供給が需要を滿し得ずおそるべき悪性インフレの一歩手前にある。この時代に廣告宣傳でもあるまいと一部の人達は言われるがそれはあまりにも近視眼流な考え方であつて、今こそ將來の飛躍に備うべき陣構期であると同時に正當なる廣告が生産を刺戟し經濟發展の基礎をつくるものであることを認識しないものの妄言といわざるを得ない。

日本廣告會は戰時中廣告會並に情報局等の國家機關によつて、强制的に浸略戰爭への宣傳に驅りたてられ否められた民間宣傳團體の自主性をとり戻し、廣告文化の向上發展のための自由且つ最も民主的な方法によつて結成された協同團體である。而して將來正常な國際關係の許容された場合、連合國における關係諸團體とも緊密なる提携同調をはかり、もつて日本の廣告界を世界的水準まで引きあげてゆきたいと念願している。さしあたり日本廣告會の事業として採りあげたいことは數々あるが、あらゆる面に隘路の多い現狀では企劃だけで實現困難なものばかり多く、從つて手のつけ易いものから漸進的に實行に移してゆきたいと思つている。本會今後の活動の中軸となるものは定款第二十六條に基く各種委員會並に分科會であつて、既中技術部會の運營を熱極的に推進してゆきたいと考えている。近い將來是非實現したいと考えている計劃の一三をあげれば左記のようなものである。

一、新進のアドマン（デザイナーをも含む）を養成する機關の設置
一、廣告の科學的調査機關の設置
一、廣告の啓蒙運動の展開
一、廣告倫理の確立

本會の會員も大方のご理解とご協力によつて既に二百數十名を數へ本年中には殆なくも三百名にはしたいと思つている。會員數の多いばかりが能ではないが、なるべく多くの業界人に力を協せていたゞいて立派な充實したものにしたいと思う。この機會に一層の御聲援と御鞭撻を希う次第である。

廣告界展望

新井靜一郎

▲日本廣告會も芽出たく結成を見た。戰時中の團體の如く上からの重苦しい壓力にも依らず、各自の意志が自然に一つに集つて、素直に出來上つた明朗な團體である。

▲宣傳とか文化とか、又は東亞とかいうような、實を伴はぬコケおどかしの名前をサラリと捨てて、廣告の裸一貫に徹したのは大いに宜しい。

▲從來の如く、プロパガンダとアドヴァタイジングとを混同することは、絶對にやめなければならない。それと共にアメリカでは、パブリシテイという言葉を使つてゐることを、私達ももう一つ考へて見る必要がある。

▲廣告會の理事の顔觸れを見て先づ氣がつくことは、從來の團體の理事に比べて、年令が一廻りも若くなつた事だ。

▲それと、廣告行政と廣告技術の專門家が、多く顔を並べ出したという事だ。理事長の白川氏も現職の廣告部長である。パリパリの實務指導家が揃つているのだから、これで仕事の出來ぬ筈がない。

▲大阪にも廣告人の綜合的な團體が出來たというニュースがある。由來、大阪のアドマンは東京人のそれよりも鼻つ柱の强いので有名だ。

▲最初から無理に一つに纏めようとしたり、大阪を支部にしようとして御氣嫌を曲けたりせずに、むしろ東京と大阪とが、張り合つて仕事をして見るに限る。

▲實績を擧げた方が、全國的組織の本部になるということも、却つて面白いではないか。

▲東京にも、もう一つ宣傳クラブといふのが出來たそうだ。仕事を番組にやり、獨自の風格と特色とを持つ團體なら、幾つでも出來た方が宜しい。

▲まづお互いに仕事をやつて見ることだ。まだ海のものとも山のものとも分らぬ内に、お互ひに中傷したり、妙な裏面工作をやつたりする事は、絶對にやめた方がいい。

▲唯、いくつもの團體に顔だけ並べて何もしないというような、あいまいな存在は解消させて、どれか一つに主力を注ぐことにしよう。

▲廣告とは主張をする仕事であるにも拘らず、廣告の社會的發言が、まだまだ殆ない。

▲新聞廣告の場合など、商品名と社名とを入れたゞけで事足れりとした廣告が多過ぎるあれで選べとは、チト無理な注文だ。

▲アメリカの例のように、もつと廣告の上で意見を述べる習慣を、身につけるようにしなければならない。選擧の場合でも、意見を聞いて見なければ、候補者が選べないのと同じ理窟だ。

▲その際には、現在の新聞廣告面の區切り方にも、再考を要する點がある。新聞自體の大きさにも、生命と魅力を保持する爲の限度があり、タブロイド版では到底それが保持せられない事は、衆目の一致する所だ。

▶それと同じように、廣告のスペースにも、これ以上は小さく出來ないという、ギリギリ結着の大きさがある筈だ。

▲廣告の社會的な發言が必要であるように、廣告界をよくする爲の廣告人の發言が、この會報あたりをきつかけとして、ドシドシ活潑になることを切望する。

○宣傳の世界記錄

戰爭が終つた平和になつたと思つた途端、之は又凄いスピーディーなアメリカ式宣傳にど肝を抜かれた。レーノルズ・ペンで有名なミルトン・レーノルズ氏が世界一周早廻り機に自から航空士として乘り込み、命を賭の大宣傳と云うところで同じ宣傳でも世界記錄を破ると云うのが目的なのだから一寸粋が違う。

四月十五日に日本へも立寄つたが、アメリカ人の飽くことを知らないフロンティアーそこで印刷されると云うことを云う。マイクロ、フイルムで人には今夢にも考えられないやうな大規模な仕事をアレよと云う間にやつてのけるその無雜作さに驚き入る次第だ。

○世界同時出版

タイム誌のヘンリー・ルースの出版者によつて同じ雜誌の出版が同じ日に世界中に發行される、つまり世界同時出版と云うことが豫想出來ると云うこと。

雜誌全部を運び飛行機で世界のどんな遠い都市へでも運ぶことを知らないフロンティアーそこで印刷されると云うこと精神に感嘆すると共に、日本が、僅かの時間で出來ると。

本日ここに掲られる廣標の中には新聞の廣告などに勤務している人のみならず廣告主または廣告方面關係の人が見えている人の聞きました。私は個人的に申しましても廣告に興味を持っております、そうして日本の新聞に出ている廣告にたいしましても同樣に關心を持っております。

商品を販賣する目的で廣告することはその國民の精神士氣を發揮するものと解釋いたします、日本の新聞が現在の二頁よりは八頁、十二頁、十六頁の多くの枚數で毎日刊行されることを希望します。しかし現在非常に深刻な用紙難に直面しておりますからできるだけの紙面を最大限に利用するのが皆樣の義務であります。そして次のことを記憶しなければならないと思います。もしも商品が正直な要求に應ずるならば廣告というものはその商品のニュースというものを傳播するものでありますそうして商品の品質が合格水準より以下のものであったならどんな廣告をしても意味をなさないものであります。米國におきまして電氣を廣告することによりましては、かのどこよりはずっと早く電氣を各家庭に入れることが出來たわけであります、ニュースが傳播することによりまして、廣告は電氣という時間を節約し金錢を節約しその發明の利益を多くの人が享受したかったものでありますから、生產業者というものは國民が拂うことのできる値段でもっと多くの電氣の機械を這ることができたわけであります。

同じことをほかの文明の機械についてもいえることです、たとえばラジオや自動車や近代的衛所設備についても同じことがいえます。

國民というものは廣告された商品はかならずいいものであることを期待しているものであります。

米國におきましては、永い間廣告されている商品というものはどうしても良質でなければならなかったものであります。

わたくしがひとつの驚異に感ずることは非常に發行部數の多い新聞というのは、ごく少數であるということであります米國の人口は約一億四千萬でありましてこの一億四千萬人は大體一萬四千八百の新聞を讀んでおります。

日本の人口は倣りに八千萬といたしましても八千萬の人口は僅か千百二十の新聞しか讀んでおりません。そのうちの百四十ぐらいの新聞は日刊紙であります。

英國、米國そうしてスイスのどんな小さな村を訪れても新聞のないところはございませんわたくしは人口僅か一萬の町に新聞を發行しております

もしもわたくしの新聞の頁數が十二頁二十頁三十頁の多くに及んでなかったら當然わたくしは財政破綻に陷るものであります、わたくしの新聞から得る收入の五〇パーセントは廣告からくるものであります、わたくしの新聞の發行部數というのは六千五百部であります。

ここに一九四七年二月十八日のクリスチヤン・サイエンス・モニターといふ新聞がありまして（手もとにある新聞を指す）頁數は十四頁でありまこの新聞の發行部數はおよそ十七萬五千であります、

この新聞は非常に勢力のある新聞でありまして國際的に知られている執筆家を擁している頁數であります頁數は十四頁でありますけれども第一頁と第七・八頁を除いたほかは各頁とも廣告を載せております。でありますからこの新聞は經濟的な損失をしなくとも發行できるわけであります。

そして收入を購讀料に求めなくともいいわけであります。

もしも日本に用紙が潤山あると假定いたします、そうすれば新聞を發行したい人はどんな小さい村に行ってもその村の商人たちと交渉して商人たちの廣告を載せることができれば日本は現在よりも多くの新聞を持つことになるわけであります

ある人は次のような質問をするかもしれません。

廣告は新聞の發行部數と比例するものではないかというようなことを聞くかもしれませんが自分の町で發行する自分の新聞はその町の商人たちが一番關心を持っておりますそして關心を持っている人達に自分のニュースを賣るわけであります。遠いところの新聞には自分たちの廣告はしないものであります。ではわたくしの小さい新聞はどういうような商品を廣告しているのでせうか、ここに一人の商人が

新聞の經營と廣告

インボーデン少佐講演速記

おりまして食料品を廣告したといたします、この商人は自分の食料品を自分が販賣したい値段と一緒で新聞紙上に廣告するわけであります。町の映畫館は町に到着する映畫を新聞紙上へ廣告するものであります。そうして自動車業者は自分が販賣する自動車を廣告するものであります、デパートではデパートの中にあるいろ〳〵の商品を廣告するものであります。

百姓が賣りたい牛を持っているならばやはりそれを廣告するものであります。でありますからわたくしの小さい町において販賣したい品物というものは結局自分の小さい新聞に廣告されるわけであります自分の町はサンフランシスコから二百五十哩離れたところにあります。サンフランシスコで發行されている大きな新聞も自分の町で讀まれておりますけれども町の人たちは商品を廣告する場合にはそういう大きな都會の新聞には興味を持っていないというわけであります。

米國は廣告の大國であります米國の新聞はいかなる新聞よりも多くの廣告を掲載しております。米國の新聞の收入は大部分廣告からくるものであります購讀料金からくるものではありません。この結果米國の新聞は世界で最も自由な新聞であります。

ある人は次の質問をするかもしれません、すなわち廣告を新聞に載せる人はその新聞の編集方針を管理しようとするか—

私の知っている範圍内におきましてはわたくしの新聞に廣告を載せる廣告主というものは決して自分の新聞の編集方針をどんな意味においても管理しようとはしておりませんわたくしは政治の分野におきましては民主黨にぞくしていて民主黨の政治原則綱領というものはわたくしの新聞の社說面において主張するものであります。

社說というものは〝社說〟という見出しを指すものでありまして この頁にはこの新聞の編集者の意見が反映されているものであります、ニュースの頁になりますと民主黨の反對黨である共和黨の原則綱領というものを掲載しその立候補者がどういうようなことをいっているかを掲載するものであります。わたくしの町の大きな商人のあるものは共和黨にぞくしているものであるにもかかわらず自分が民主黨であるからといって彼等の廣告を自分の新聞からとりのけるということは一度もなかったことであります。このことは結局アメリカ人の考え方に起源しているものと思います。

すなわち各個人はそれぞれの意見を持っており、また持つ權利があるということであります。ここにBH型の自動車の廣告 を出しておりますが（手もとの新聞の自動車の廣告を指す）その人は自分の自動車を賣りたいことにのみ關心を持っていてその新聞の編集方針には關心を持っていないものであります、商人が自分の新聞廣告を載せる理由というものは自分の商品を販賣したいためであります。もしも廣告した商品が販賣できればその商人は非常に滿足するものでありましてその商人は自分が共和黨員またわ民主黨員であることには、なんら關心を持っていないものであります。

日本 のある 新聞からつぎの質問がありました。米國の新聞は廣告する商品を廣告する前にその商品の良し悪しを調べるかということであります一般的に申しますと米國の新聞は廣告する商品の良し悪しは調べないものであります。しかし今手に持っているクリスチヤン・サイエンス・モニターという新聞は廣告する商

品は廣告する前に調べるということであります。

グッド・ハウス・キーピングという米國では家庭向の雜誌がありますが鉛筆一本でも廣告する前にはそのペンシルの品質の良し悪しを調べるものであります。しかし商品を廣告する際、廣告は眞實でなければならないという法律がありますから、その法律でわたくしたちは保護されているわけであります、もしも一人の廣告主がガラスのコップを廣告いたしましてガラスのコップをコンクリートの床の上に投げても決してこわれないという廣告をする、そして實際試驗をしてこわれた場合にはその廣告を載せた新聞の責任ではなくその廣告主の責任であります。なぜならば虛僞の廣告をしたことになりますから……

もう一つ聞かれた質問というのは米國の新聞は賴まれた廣告というものを全部載せなければならないかという質問でありました。米國の新聞は賴まれた廣告を全部載せなくともよろしいわけであります。また全部載せる餘裕もないのであります。もしも米國の新聞の持主が裕福しないならば酒類や煙草類やダンスホールや撞球場などの廣告を載せなくともよろしいわけであります。しかしわたくしの新聞では酒、ビール、アルコールものダンスホールなどの廣告をします。なぜ廣告しますかというと、もしもこれらのものを廣告しなければ誰が廣告するに違いないからであります、しかしそういうものを廣告しなければならないという法律はありません。クリスチャン・サイエンス・モニターという新聞は決して酒類や煙草類ダンスホールの廣告を掲載しておりません。

相當こちらで話しました、この邊で皆さんの方から質問がございましたらお答えしたいと思います。

質問應答

（質問）日本では廣告をあまり出すと三種郵便物が認可されないような傾向でありますが——

（イ少佐）米國でもそういうことは行われております。米國では自分の新聞の五〇パーセント五五パーセントまでは廣告しなければならないということになっております、しかし人間は新聞を買う目的はニュースを讀むためであります。現在日本の新聞が掲載している廣告の比例というものは非常に低いものだと思います。しかし日本の新聞と米國の新聞の違いは皆さんでおわかりと思います。手に持っている新聞は十四頁の新聞でありますが澤山廣告を乘せた上にニュースというものを十分に讀者に提供する餘裕を持っております。結局問題は新聞用紙問題によるわけであります、もしも「民報」という新聞が五十頁もの枚數の新聞を現在發行したならば半分は廣告半分はニュースで使つたならば現在の限られた紙面よりもはるかに十分のニュースというものを掲載することができるわけであります。もしも「讀賣」「毎日」「東京新聞」「日本經濟」が突然明日八頁うを發行する、そしてその八頁のうち四頁は廣告用に割當るというふうなことになれば現在よりもはるかに大きなニュースというものをこれらの新聞は掲載できるものと思います。

いま日本の新聞の現狀では難かしいことではありますけれども、もしも日本の新聞が現在よりも多くの廣告を紙上に掲載したならば、國民を刺戟するに違いないと思ひます。そして生產業者をも刺戟するに違いないと思います。

（質問）日本でも戰爭前は澤山な新聞があつて全國に新聞雜誌がまだ一萬以上もあつたのですが戰爭中にだんだん强制的に止めさせられてすくなくなつたわけですが、ただ今の御講演によつて私どもの考えたことは日本では各府縣の新聞は東京の新聞におされて廣告でも地方の新聞は成立たない。いわんや五萬の獨立市でも新聞や雜誌はなかなか成立たないそれがアメリカでロサンゼルスから二百五十哩も離れたしかも人口一萬ぐらいのところで大きな新聞が成立つということは實に不思議に思います。がどういうわけでございますか——

（イ小佐）結局その問題は廣告の問題になりますそれと同時にその地方のニュースを掲載する問題になります。わたくしの新聞ではわたくしの地方のニュースはすべて掲載しております。都會の新聞になりますとわたくしの地方の出來ごとは最も大きな出來ごとしか掲載しておりませずもし見を自分の土地の人が讀賣を發見をしたならばその人はその發見を多くの紙面を割いて書けるわけであります。もしも自分の土地の人が自分の州の品質展覽會に持つてゆくようなことがあつたならば自分の新聞ではそのことを大々的に報道するわけであります。もしも自分の土地にしてほかの人よりも最も多い小麥の收獲を刈入れるに成功した人がいたならば自分はその人のところに行きまして、どうゆうふうにしてそうゆう大きな小麥の收獲を得たかを聞いてそうして新聞に報道するものであります。また土地のお孃さんがジョーンズの息子さんと結婚した場合は、その結婚式を大々的に報道し花嫁の寫眞も載せるのであります。

また自分の土地の高等學校またわハイスクールがほかの土地の高等學校と對抗試合をやる時にはやはり自分の學校の試合經過勝敗を完全に載せるものであります、自分の新聞には自分の州の主な出來事と全國の州の主な出來ごとはAPのほうから貰いまして載せるが、それは詳細なところまでは載せません。自分の新聞は地方新聞であります、その地方の住民はその新聞にどういうようなことが書かれているかを讀みたがるものであります、もしも自分の土地の住民がサンフランシスコかロサンゼルスまたわほかの街の出來事を自分の新聞に掲載されたよりもつとくわしいことを知りたいならばサンフランシスコかロサンゼルスなりで發行するほかの大な發聞を買つて購讀するものであります

わたくしはいつか靜岡縣に旅行した時その縣下の農民組合の代表者たちがわたくしのところに來てつぎの依頼をしたそうです。

すなはち用紙割當委員會のほうにゆきまして靜岡新聞にもつと澤山新聞用紙を割當てるように賴むという依頼でありました。靜岡新聞は本當に靜岡縣下の國民の聲を事情を反映しているということであります。靜岡の人たちの話によりますと靜岡新聞はやはり地方的な色彩を持つていて自分が知りたい地方的な出來ごとニュースを掲載しているという新聞であるということであります。もしも地方新聞で自分の地方の事情を忠實に反映し地方の人たちの聲を傳えたならば決してその地方新聞は「朝日」「毎日」「讀賣」のような中央紙との競爭には負けないものだと信じます。

この間一つの地方紙の代表者がわたくしのところに參りまして自分の縣では重要の出來ごとというものは一つも起らないといっておりました。重要である重要でないというのはやはり立場の問題であると思います、地方の人にしてみればその地方で起るいろいろなことがらはやはり大切な重要なものであります。

もしもタナカタローという人がその地方に五六十年も永く住んでその地方で死んだならば、そうしてその人をその地方の人たちが全部知つていたならば、やはりそのタナカさんの死んだことを報道しその經歷をも載せなければならないと思いますヤ。マモトという人が自分の地方でもつとも多くの米の收穫を刈入れるに成功したならば、そうして一反當りに最も多くの麥を作る方法を發見した粘土を用いまして瓦なり下水用のパイプなりを作りそうして小さな產業にまで發達させたものであります

地方紙である以上こういうようなことがら、できごと、發見物を報道しなければならないと思います、地方紙である以上はその地方の產業を發達させるように努力しなければならないと思います。小さな町の新聞になりますと都會の新聞と違いまして二百萬や百萬の發行部數を持つわけにはゆきません。わずか十萬か十五萬ぐらいの發行部數を持つのがせいぜいでありますからニュースを掲載するのに廣告を掲載してほかから收入を得なければならないものと思います。町の新聞の經營者はやはり收入を廣告から獲得しないならば決して自分の新聞は經營できない譯であります

に成功したならば、その地方の新聞は喜んでヤマモトさんの成功した方法なりを報道するために大切な用紙紙面というものを割くに違いないと思います

自分の地方には面白い重要な出來ごとが一つも起らないとコボした人が、わたくしたちの部屋を去つてから一時間たたないうちに、わたくしたちは次のことを發見したものであります。すなわちその人の地方の農民たちが灌漑用のダムを建設する途中大切な粘土を發見したということであります。發見した粘土を利用しまして、これらの土地の人たちは立派な瓦を作り、そうして立派なその下水用の道具を作つたのであります

そうしてこの土地の住民たちは發見した粘土を用いまして瓦なり下水用のパイプなりを作りそうして小さな產業にまで發達させたものであります

地方紙である以上こういうようなことがら、できごと、發見物を報道しなければならないと思います、地方紙である以上はその地方の產業を發達させるように努力しなければならないと思います。小さな町の新聞になりますと都會の新聞と違いまして二百萬や百萬の發行部數を持つわけにはゆきません。わずか十萬か十五萬ぐらいの發行部數を持つのがせいぜいでありますからニュースを掲載するのに廣告を掲載してほかから收入を得なければならないものと思います。町の新聞の經營者はやはり收入を廣告から獲得しないならば決して自分の新聞は經營できない譯であります

みなさまのためになつたか、ためにならなかつたかわかりませんけれども皆さま御存じのように新聞用紙は木を切つて皮を剝いでたちまち澤山出來あがるわけではないものであります。日本の學童のための教科書を作ることでさえも非常にこれから難しくなるものであります。皆さん御存じのように日本新聞協會にぞくしている各社は一週間のうち二、三回はタブロイド型で自分たちの新聞を發行しているのであります。この目的というものは文部省にこれで作る紙を日本の學童の教科書を製作するために與えるのであります。北海道における王子製紙工場は非常に大きな近代的な設備を有しているものでありますけれども今日生產能力のわずか四十八パーセントしかしておりません。そうして一日わずか二百二十五トンの紙しか出しておりません。なぜ王子製紙工場が全能力のわずか四十八パーセントで操業しているかというと十分な石炭を入手出來ないからであります。もしも十分な石炭を入手出來さえすれば一〇〇パーセントの能力を出すことができるわけであります。

もしもこの北海道における王子製紙工場が十分な石炭を入手し、そうして一〇〇パーセントの生產能力を發揮できたならばこの工場だけでも一日五百二十五トンぐらいの紙は生產できるわけであります今日日本の新聞界の苦衷の種というのは用紙問題でありまして日本の新聞にもつと廣告の出ることを希望する人たちがあります。

（質問）廣告は眞實でなくてはならないというという言葉がアメリカにあるということを聞きましたがそれは過去のアメリカにおいて廣告が眞實でなかつたためか、そういつた商業道德というかそういうものを童に誠實にあらわしたのかちよつとお伺ねします。

（イ少佐）廣告は眞實でなければならないという法律は米國にありますけれども、その法律が米國で出來上つた主な目的というのはその當時はやつていたいろ〳〵の藥品から國民を保護するためであります。たとえば何々博士のせき止め藥を含みさえすればあらゆる病氣はなおるという廣告がありましたがそういう廣告はおゝむねにして事實無根のものであります。

またある藥の廣告は人に非常に有害な廣告であります。というのはその人が廣告された藥を呑んだ時には自分の體を悪くするようなものでありますから、その結果純粹食料こしてこの法律はあとから廣告されるすべての商品を包含するように至つたものであります。米國の昔の習慣といたしましては品物を賣る人は用心して買わなければならない原則の下に立つていたものであります。しかし現在はそれと全く逆であります。ものを賣る人は用心して賣らなければならないという原則に變つたものであります。たとえばわたくしの自動車はこういうものであるというふうにいろいろ說明したならばやはり說明なければならない義務を持つているものであります

（質問）現在の新聞の用紙事情からいいまして廣告の所要量は全體の紙面からいつて二十五パーセントないし三十パーセントですがこの記事と廣告の比率をインボデンさんはどうお考えになつておりますか

（イ少佐）それはやはりその新聞の經營者によるものだと思います。たとえばわたくしでしたら半分をニュース紙面に割きあとの半分は廣告に割きたいと思います。またある人にすれば紙面の六割はニュースあと四割は廣告という人もおります。新聞というものを讀者に提供しなければなりませんから、もしもあんまり多くの廣告を掲載することによりましてニュースを載せるような紙面がなくなるようなことがあればその新聞は自分の價値というものをなくするわけであります。しかし「讀賣」「每日」「朝日」という新聞にして現在の二頁の新聞ではたとえ廣告を全然載せなくとも十分なニュースを掲載できないものと思います結局問題は用紙というものをもつと澤山持たなければならないということになります

（三月十七日京橋明治製菓ビルに於て）

技術部會の重要性に就て

土渡亞二

日本廣告文化の向上と發展を目的として「日本廣告會」の生誕を見た事は、吾々廣告人にとつて、全く欣びに耐えない何故なら、廣告に關係する誰もが、廣告文化の向上と發展に寄し度いと願わない者はないし、又この團體であるならば、必ずやその目的を果し得る諸要素を備えていると信じ得るからである。廣告文化の向上は、ひとり產業文化の發達を促進するものでなく、ひいて文化社會の建設をもたらすものである。

廣告人かんの親睦團體も必要であろうし、廣告業者と廣告主の協和團體も必要であろうが、廣告文化の向上發展即文化社會の建設である意味に於て、廣告團體の最高の理念の實踐を目的とする點、私は本團體の生誕に衷心より贊意と期待をかける者である。

然し乍ら、この「何々の向上と發展を目的とする」と言うお題目は、凡ゆる政治、經濟、產業、文化その他の面に於て結成される諸團體に掲げられるところの合言葉であるこの合言葉には既にもう興奮を感じなくなつた。その理由は語るまでもない。常に空念佛に終つたからである。

正しい、最も美しい最高の理想でわかろうか。團體結成の當初は、誰もが眞摯であるため、最も正しいものを追求しようとするが、何時の間にかその興奮は實踐上の無組織と不合理性によつて消煙散霧して仕舞う。

この事は、今日までの廣告界に於ても同一の事が言える廣告文化の「向上と發展は」この領域に於ても常に蹴印であつた。然らば何處に缺陷があつたか？技術部會生誕の重要性が茲にある。

誰がうまい事を言つた。日本廣告會という劇場は出來上つた、さて、誰が劇を演じるか。その役者が技術部會であろうと私は思う。本會の事業の一部に言う所の、廣告の科學的研究班に調査、內外文化團體との連絡協調、會員の親睦交歡等があるが或はこれ等は技術部會の生誕を俟つまでもないかも知れぬ。然し廣告文化の向上と發展と言うは、廣告技術の高度の向上を計り、その基礎の上に打ち樹てられた處の社會的擴大あつて始めて達成せられるのである。

幸い、日本廣告會は、新聞雜誌をはじめ、藥品、化粧品出版印刷、映畫演劇、百貨店飲食、機械、廣告代理業、其他諸機關數十社に餘る經營者本班にアドマンを背景として成立した。この强固な基礎を背景とし、廣告技術家を糾合し技術部會を結成するならば私はこの目的は必ずや達成し得ると確信する。

ここで言う所の廣告技術家は、最高計畫の樹立をなすとプランメーカー、アドライター、デザイナー、カメラマン其他廣告目的遂行上における各專門技術家の事である。若し廣告團體にして、かかる部會の結成が無いとしたら、その社會的價値、社會的役割の半分は消失して仕舞うであろう。一日も早く日本廣告會の技術部會の生誕を祈るものである。

事務局より

お願ひ

入會申込があつて入會金と會費未納の方が未だ相當あつて整理上困つて居ります手不足で集金にお伺い出來かねますので、誠に恐縮ですが御送金又はお届け下さいますようお願い致します

現在會員數は二三三名で之を各業種別に分けて見ますと、新聞六〇　醫藥品二五家庭藥六二　化粧品一九映畫百貨店一一　官衙金融交通一　出版印刷八　機械器具雜品四　飲食料品一屋外廣告一　代理店三〇となつて新聞藥品代理業等の入會者に比べて化粧品出版機械器具飲食料品屋外廣告官衙金融交通等は、會社の數に比例すると入會者が少な過ぎますので、右業種關係會員の皆樣に是非入會の御勸誘を御願い致します

會員關係の消息動靜等は出來る限りお知らせ下さい

日本廣告會のパイロット

白川虔三氏

日本廣告會と云う立派な良い仕事をする會が生れた。と同時に白川虔三氏が理事長になった。廣告界に於ての彼の活動はもう相當に古く、或る程度幹與の存在を示していたのであるが、全般的に見て個第二級的存在として甘んじていなければならなかった。と云うのは廣告界の第一級的人物と自稱他稱の人間が、凡そ廣告界の進歩とか向上などとは關係なく社會的に一廓の地位をでっち上げて廣告界の第一線を遊よくしていたからであり、そういう奉てこな社會で彼が既に相當の勢力權と實行力を持ち乍ら、第二列目に立たされていた。

戰爭はどんな有能な人間をも單なる人的資源にしてしまい廣告界も亦何等爲すところなく、色々な廣告團體なども事實上自然消滅の形になってしまった。

戰爭は惨めな敗戰に終った戰爭に敗けて日本人は始めて我に歸った。生れて始めて自由と云うものゝ中に自分自身を見出して、むしろ途迷いをした位だ。がとに角平和の社會に戻り産業經濟界も或る程度立直りを見せ、經濟事情や生産狀況の隘路や與條件にも拘わらず生産の復興に伴って廣告の仕事も活動が開始されるようになった。

こおして、白川氏は自分自身が終戰後の廣告界にとって一つの重大な鍵であることを自覺した。主役として自分の演ずる役割に對して覺示を受けたのだ。そして新進氣鋭の同志を語らって彼自からの手によって日本廣告會がつくられたのは、彼の讃々たる自信と見透しと組織力に物を言はせた當然の結果であろう。

白川氏程率直な人間は珍らしい。思った事は思った通りにずけ〳〵話す。それも彼獨特のキメの粗い言葉使いや表現法から時に毒舌的に聞こえたり誤解を受けかねない事もあろう。だが彼の心情は決して表面の印象程粗いものではない。彼の服裝や色々なアクセッサリを見よ、まず寸分の隙がないと云えると思う。

資生堂の廣告のように洗練とした都會的と云うより所謂銀座的文化を代表するソフィスティケーションそのものだ。あらたまった禮儀めいた話なども堂に入っている。仲々理路整然とし、相當長いセンテンスの場合なども、てにおはの亂れもなく、キメの細かい所がある。

彼は座談の時によく自分の失敗談（大概酒を飲んだときのことが多い）を誇色せずにする。しかもクドい位萬邊なくする。普通の人間だと默って知らん顔をしてるやうな事を何のこだわりもなく話をする。この易々と誰の前にも自分を投げ出して見せる態度は衒っているにはあまりに率直だ。だから聞くものは彼のそう云う失敗談から、ほろ苦い笑いと一緒に何かしら教訓を得る。聞く人に人間の弱點と失敗に對する考察と反省を促す。完全な人間とは、あらゆる良いものを身に着けることではなくて、逆に餘分なものを捨て去ってしまった人間のことだ、と云った人があるが、若し彼が無邪氣に失敗することを臆々吐き出して行くならば、必ずや捨て去るものの無くなる人間になると思う。彼は冒瀆癖を二、三回やってある。勿論酒のためと思うがこゝに彼の不敵な一面がある大概の人間だと一度でも冒瀆癖をやると命が惜しくなって慄え上り、酒をふつゝりやめてしまふところだが、恐るべき冒瀆癖と云う命とりを何回も繰返すと云う彼の精神力と肉體の生命力は確かに不思議な强さを持っている斷つておくが、算者は決して彼の酒を讃めてゐる譚ではない。

兎に角彼は斯うした性格の一面を以て、相手がどんな地位の人間であろうと一體ぶつかって行く。日本廣告會の設立に當っても、昔の所謂第一級型人物の殘滓で尙野心を捨て切れない人達と古い交際から來る情誼上の行きがゝり的に相當氣まずい思ひもあったに違いないが、彼は强引に押し切って排除してしまった事などは相當なものだ。

日本廣告會は日本の産業の復興と直接關連のあるものはもとより、更に新しい日本の文化を推進させる重要な役割がある。しかも多分に國際的な性格を持った文化團體にならなければならないのである以上、その理事長の地位も亦社會的に高い文化的なものになるわけである日本の廣告の水準を高めると云うことも其の基礎として日本の文化そのものが全面的に高められることなしには考えられない。何よりも廣告人全般が先づ進歩的な眞の文化人になる必要があろう。今までの廣告團體と性格的に違うのは先づそう云う點でなければならない。日本廣告會のパイロットとしての彼の役割は破天荒である。資生堂の白川重役と同時に世界人としての文化人白川に飛躍する期待が當然起る。現在の廣告界に於て、復興と建設の交錯する點で問題は山積して解決を待っている。廣告人の成人教育、次代の廣告人の養成、廣告の取引の合理化民主化と云ったようなことから廣告の技術の改善向上など、狹いが文化國家として高い內容を持つべき日本廣告會の根本的な問題が色々ある。筆者は再建日本に於ける新しい日本廣告會の仕事をする彼の手腕と力量と、何よりもその熱情を間違いなく實るものである。日本の廣告界は確かに良くなるに違ひない。まして彼の人間として最高潮の世代に入る時に、彼の本當の人間が本當の仕事をする立派な會を自からつくり上げたのであるから。只一つ彼が第四回目の冒瀆癖をやることだけは絶對に許されない。パイロットの任務の重大さはパイロット自身がよく知っている筈である（槇長二）

技術部會結集さる

豫て日本廣告會の最も中核となり會の活動のイニシアティブを取るべき技術部會の結成が急がれていたが、白川理事長の熱案が熟すると共に四月二十二日第一回部會が招集された招請を受け參集した十餘名の技術者代表に、理事長二渡新井西郷の三氏の外顧問格として推橋氏等出席、席上白川理事長より日本廣告會の設立要旨並に設立に對しての技術部の重要性と從來鬼角任務の稱要さに比べてその立場の認められなかった技術者の社會的地位の向上と綱領權獲得のために一致協力する必要あるは勿論、結集された廣告技術者の技術部會の活動こそ日本廣告會の存在の理由を裏附ける唯一の原動力たる所以を强調した。

白川理事長より廣告部會の理事二渡氏を技術部の責任者として技術部の理事に推擧した。次いで二渡氏の挨拶の後、技術部の在り方やその企畫性について活潑な論議を交し、次の第二回の部會に於ては技術部の組織や企畫の內容を具體的に決めることとしここに懸案の技術部會の結成となって三時半散會した。

會長副會長略歷

會長高橋龍太郎氏 明治八年生れ、三高工學部を卒へ獨乙ワイ（ンステファン及ミュンヘ）ンに留學し帰朝後日本製藥株式會社に入社し專務を經て昭和十年社長に就任し現在に至る。

副會長鹽原純三氏 明治四十二年生れ、水戸高校を終へて渡米プリンストン大學入學昭和九年卒業後歸國昭和十五年三共株式會社の社長に就任現在合成樹脂工業連合會々長東都醫藥品工業協會理事長、日本醫藥品配給株式會社取締役東京藥業協會々長等を夫々兼任されている。

會誌

△二月十三日創立總會擧行、午後二時於丸の內工業倶樂部

△二月廿日理事會午後二時於電通會議室白川理事長以下十六理事出席インボーデン少佐講演會開催その他數件審議可決

△三月十七日インボーデン少佐講演會午後二時明藥ビル講堂

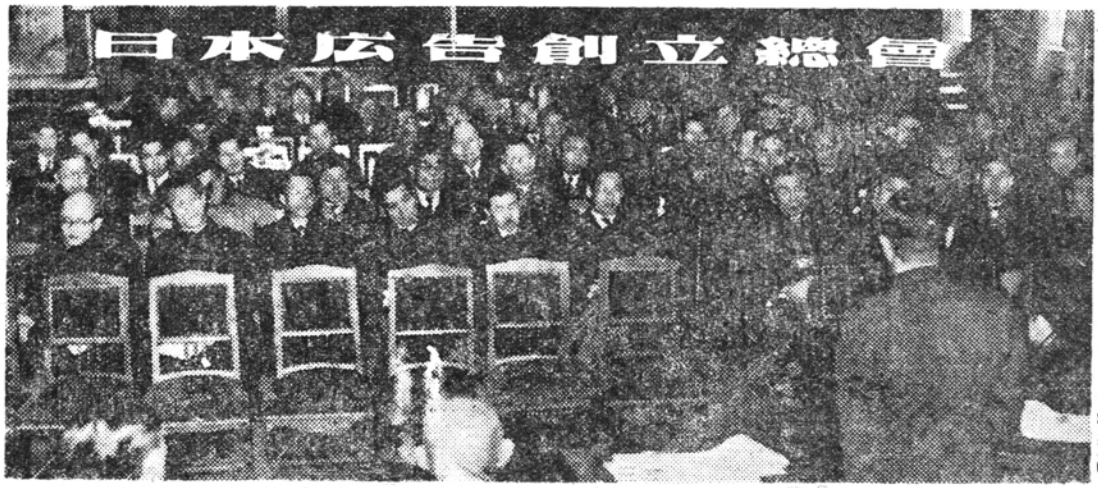
△三月廿七日理事會午後二時於電通會議室白川理事長以下十五理事出席技術部會結集會報經行等審議可決

△四月廿四日第一回技術部會招集午後二時於電通會議室

△四月廿五日理事會午後二時於電通會議室白川理事長以下十二理事出席廣告復興商品展ポスター展の件と審議冊一年大日本麥酒の前身大阪麥酒に入社爾來五十年現在社長、麥酒々造組合理事長及關係諸會社の役員、又日本商工會議所東京商工會議所會頭。初の參議院議員に無所屬で全國區より立候補し壓倒的高點數を以て當選された。

アルス藥品株式會社

日本廣告創立總會



戰爭を放棄した日本が新しい民主的な文化國家として生れかわり、産業の復興によつて一途に文化の水準を高めることが國家の目的となつた。廣告の文化的な役割が新しいなることが考へられると共に、日本の廣告界の再出發を期して、新しい團體結成の機運が擡上つて來たことは當然である。

漸く終戰後の混亂と虚脱から立直りかけた昭和二十一年の九月頃から、新しい日本廣告界の再建を双肩に荷う新人廣告人凡そ五十名が發起人となり、特にその中から資生堂白川虔三氏を中心として、讀賣山岡重孝、津村重舍、冨嶋博、東寶岡田喜三郎、東洋經濟倉澤修之、電通吉田秀雄等の七氏が準備小委員會をつくり、白川氏を委員長として新しい性格を持つ日本廣告會の設立を期し、新鮮な陳容による團體結集について數回にわたる會合を開き慎重な論議と檢討と審議を重ねた結果、定款の決定、會長、副會長、理事長、理事、監事等の大體の人選の決定を見るに至り、こゝに準備全く整う。この間元ヘチマコロン廣告部長であつた齋藤千夫氏が書記長として就任、會發立の進行に參劃した。

越えて昭和二十二年十二月三日遂に日本廣告會創立總會開催の運びに至つた。即ち、丸の内工業クラブに於て午後二時、商工大臣石井光二郎氏代理、日本銀行代理の下に總會は開催され參集會員百餘名、書記長司會の下に開會讀賣新聞社山岡重孝氏の開會の挨拶に次いで電通長に日本電報通信社常務吉田秀雄を推し議事に入る。吉田議長は本日の出席者は會員一二五名中九五名であるから適法に審議出來る旨を報告、左の議案を審議滿場一致可決した

一、創立に關する經過報告

一、理事、監事選任の件（互選の結果理事長に資生堂白川虔三氏選任）

一、評議員推薦の件

一、會長、副會長推薦の件（會長高橋龍太郎氏、副會長鹽原頼三氏就任）

斯くして議事を終り高橋會長、鹽原副會長、白川理事長の就任挨拶が夫々あつた後、商工大臣、日本經濟新聞社社長の祝辭代讀があり、ここに創立總會を滞りなく終つて日本廣告會は重大使命を荷つて新發足することになつた。山岡氏の閉會の辭により午後三時半散會した。（寫眞は當日の會場）